



早川 康生 議員

饗庭野演習場における 場外着弾事案について

事件発生以来どのように対処されてきたのか？

答

演習場の使用等に関する覚書を自衛隊と締結した

問 去る7月16日、饗庭野演習場で重機関銃の射撃訓練により、今津町保坂の民家で発生した銃弾被弾の事件について、自衛隊側からの説明では、「目標標的付近からの跳弾が民家に飛び込んだ。」とのことだが、この見解に対してどのように思われるか。

では、不適切な場所に標的を設置したとする人為的ミスと断定されたところであり、8月6日には現地説明を受け、跳弾であると認識しているところです。

問 事件発生以来、市はこの件に対してどのように対処してきたのか。

この件に対してどのように対処してきたのか。

答 政策部長

事案発生翌日の7月17日、関係機関等に嚴重抗議と併せて徹底した原因究明と再発防止策の対応、ならびに実弾射撃訓練の中止を要請しました。

8月6日には、標的の設置要領を実弾射撃訓練前に点検することの規則化や現地において停弾堤上部の盛土増設などの改善を確認しました。

答 政策部長
中部方面総監部の幕僚副長を長として16名による事故調査委員会を設置し、徹底した原因究明をされた結果、今回の跳弾事案について



自衛隊の訓練の様子

問 8月27日付で、保坂区長より出された7項目の要望について、区民の真摯な思いですので、可能な限り叶えたい。

て、被害者宅はもとより、保坂区をはじめとする関係15区・自治会へ出向き、市民の声をお聞きし、一定再開に向けてのご理解をいただいたものと判断させていただきます。

答 政策部長

こうした経緯から、8月27日には、今津駐屯地業務隊長と覚書を締結したところです。

すっかりと受け止め、関係機関と調整させていただきま

その他の質問

●土地利用に関する各種計画について

8月17日から20日にかけて